



三次中央会報

ロータリークラブ

2018-2019 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 夏の家族会 三次ワイナリー
- 次回例会日時 2018年8月27日(月) 12:30~
- 次回プログラム ゲスト講演/会員増強・選考・職業分類委員会
地区会員増強委員長 中島秀晴様(尾道RC)

■第1232回例会記録

- 日時.....2018年8月6日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「我等の生業」.....全員
- ゲスト紹介

RI第2710地区ガバナー 古原久司様
 // 随員幹事 垣内康司様
 RI第2710地区G-12ガバナー補佐 角田守様
 // ガバナー補佐補佐幹事 内田直恵様

■ガバナー、会長、幹事懇談会.....

例会に先立ち、ガバナー、随員幹事、ガバナー補佐、補佐幹事、
 会長、幹事、会長エレクトの7名で懇談会が開催されました。

■開会挨拶.....角谷会長

吉原ガバナー ようこそ

皆さま、こんにちは。本日はガバナー公式訪問です。2018~2019年度国際ロータリー第2710地区ガバナー古原久司様、同じく随員幹事垣内康司様、ようこそこの酷暑の中おいでいただきましてありがとうございます。

また、グループ12ガバナー補佐角田守様、ガバナー補佐随員幹事内田直恵様、本日は、フォーラムよろしくお願ひいたします。例会終了後、別室にてフォーラムを行います。尚、古原ガバナーには、例会での講演も合わせてよろしくお願ひいたします。

皆さん、8月は「会員増強及び拡大月間」となっております。会員増強は永遠のテーマであります。今日の古原ガバナーのお話にも大いに強調されることと思っております。

さて、7月28日に行われました第43回三次きんさい

ゴールデンゴング
 日本のロータリー100周年を記念したもののガバナーが公式訪問の際に全クラブに持参して会長に贈らしてもらった。



祭におきましては、当クラブのブースでの活動に参加いただきまして、ありがとうございました。熱帯夜と言えるほどの暑さの中、ご苦勞されたと思います。中重社会奉仕委員長や沈国際奉仕委員長より活動の成果をうかがい、ほっとしております。

私事、娘の挙式のため当日欠席致しました。申し訳ございませんでした。代理を務めていただきました石田副会長ありがとうございました。またクラブより御祝いをいただきまして、ありがとうございます。

お盆をはさみまして、8月20日は夏の家族会です。皆さん、この暑さを乗り切り、元気な顔で夏の家族会へ参加をお願いします。

本日は、ガバナー公式訪問を受けて、小根森会員に花を活けていただきました。テーマは「歓迎」です。



■小根森会員作「歓迎」

事務所/広島県三次市十日市東1-16-19
 TEL (0824) 64-1245
 FAX (0824) 64-1245
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
 http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南1-5-5
 グランラッセー三次2F
 例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/角谷俊典
 幹事/栗本清秀

●2018~19年度 国際ロータリーのテーマ



インスピレーションになる

●2018~2019年度 三次中央RCスローガン

広げよう ロータリーの心
 増やそう ロータリーの友



■小根森会員よりごあいさつ

この度の父の葬儀にさいまして、皆様方には大変忙しい中多数ご出席をいただき、また、過分なご香典をいただきありがとうございます。この場をお借りして御礼のご挨拶をさせていただきます。

■幹事報告

栗本幹事

- 例会終了後、隣の会場でフォーラムを開催いたします。理事、役員及び委員長の方は出席してください。
- 本日19時より、グランラサーレにて第2会理事役員会を開催いたします。
- 次週8月13日は、盆休みのため休会です。
- 広島弁護士会より無料法律相談会開催の案内が来ております。回覧します。
- 10月21日の地区大会の登録料15,000円を事務局で受け付けています。

■出席報告

水野委員長

- 第1230回 7月9日

会員数	41名	Make-up	3名
欠席	7名	出席合計	37名
欠席者の休会定数	3名	出席率	97.3%

- Make-up…信国君、箕田君、酒井君
- 第1231回 本日の出席は41名中36名です。

■国際奉仕委員会

沈委員長

先月7月28日(土)に、三次きんさい祭に参加して、募金活動等を行いました。国際奉仕委員会は、ポリオ撲滅関係の募金・PR、ロータリークラブの広報を兼ねて行いました。社会奉仕委員会は、お茶の販売等を行い多く売れました。青少年育成委員会及び職業奉仕委員会は子ども向けの紙芝居等を行いました。

募金の金額は、ポリオ撲滅8,124円及び西日本災害義捐金が13,091円です。会員の方からの募金と併せてそれぞれの口座へ入金しています。

■親睦委員会

野村委員長

夏の家族会の出欠確認を、次回休会のためファックスで行います。また、今年は、会場が屋外となりますので、皆様のご協力をお願いします。

■SAA

大井SAA

- 会員誕生日…大井君



- ガバナーよりお志をいただいております。
- ガバナー補佐、補佐幹事よりご出宝いただいております。
- 会員ニコニコBOXご出宝

みんがみん 十の百の十 十の百の百の十の百の十の百の十

ニコニコBOX本日出宝額 34,000円



《三次よもやま47》 花火列車

最高気温を更新しながら、酷暑の夏も過ぎゆくようとしています。S47年以來の豪雨で夏の風物詩花火大会も10月に延期となりました。花火大会といえば、皆さん憶えていらっしゃいますか?「三江線花火列車」!

三江線に乗って、鉄橋の上(裏尾関の鉄橋)で列車を停め「花火」を見る!そんな日本では初めての前例のない奇想天外な出来事があったのは、今から丁度10年前の7月25日のことでした。これを提案したのは、三次市観光協会の副会長だった我らの仲間、佐々木二千六会員でした。この企画を当時の三次駅JR鉄道部長の齊藤氏に話すと、「それはおもしろい!すごいわ〜」。それなら!と意気込み、観光協会会長の五阿弥氏と広島市光町のJR本部に行って交渉。前代未聞の企画にすったもんだのあげく、やっとなんとかしまししょうの返事。5両編成のため広島駅だけでは足りず、米子駅からも車両を手配してもらい、三次駅一口羽駅間の折り返し運転で実現の運びとなりました。

さて、意気込んで迎えた当日、冷房列車の為窓は開けず、花火の音が聞こえない。花火が上がる時、みんな同じ方向に寄るので、列車がヒックリこけるのではないかと、ドキドキ(笑)。

この花火列車、その後5回、平成15年まで継続されました。

今年3月31日で廃線となった三江線と花火大会の懐かしい思い出です。

*三江線を尾関山トンネルまでも、鉄道遺産として残す事が出来ないものでしょうか。これは私ひとり思うことか……? (佐々木二千六会員 談)



文、写真：和田ひとみ

信条：輝こうロータリー 再び

基本目的：仲間を増やそう すべてはそこから始まる

2018~19年度RI第2710地区ガバナー 吉原 久司



皆様こんにちは。2018-2019年度国際ロータリー2710地区ガバナーを拝命しました吉原です。まずはこの度、西日本豪雨災害に被災された方及び被災地域の方にお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興を祈念いたします。

また、皆様の友情あふれる温かい歓迎に本当に感謝いたします。本年度、皆様と一緒に、真剣にロータリー活動を推進して参りますので、ご協力のほどお願いいたします。

さて、この地区唯一の国際ロータリーの役員であるガバナーの役割というものは、RI会長のテーマ、強調事項をクラブの皆様にお話するということ、クラブの皆様の要望等を地区等へ持って帰ってRIへ上げるというメッセージャーであります。今年度RI会長バリー・ラシンさんは、テーマとして、BE THE INSPIRATION、インスピレーションになろう、と掲げました。色んな解釈があるのですが、私は鼓舞する人、感化し、自信を取り戻させる人、ということにさせて頂きました。

RI会長のバリー・ラシンさんはパハマ人です。パハマは島国ですが、ほとんどは海拔1メートル以下です。諸説ありますが、2100年には、海面が1.5~1.2メートル上がるとなると、国土の80%は水没しますし、日本の湾岸都市も水没してしまいます。ということで、地球温暖化を含めた環境問題にも非常に熱心に取り組んでおられます。

さて、バリー・ラシンさんの優先項目をお話いたします。

1 クラブのサポートと強化

- (1) 現会員を維持する
- (2) クラブの会員数を増やす
- (3) 新クラブを結成する
- (4) 女性会員、40歳未満の会員、ロータリーに入会するローターアクターの数を増やす

今世界で、女性会員の比率は27%程度になっています。1月私がサンディエゴに行ってガバナー研修をしました。世界で500人のガバナーがいますが、うち170人が女性です。日本で約6%、当地区ではやっと5%になりました。

2 人道的奉仕の重点化と増加

- (5) ポリオ撲滅活動の寄付と地区からのDDFを増やす
- (6) DDFを利用した地区補助金並びにグローバル補助金を増やす
- (7) インターアクトとローターアクトが地元のロータリーク

ラブ、地域社会と一緒に奉仕プロジェクトに参加するよう促す

- (8) 年次基金への寄付を増やし25年までに20億2500万ドルの恒久基金を達成する

3 公共イメージの認知度の向上

- (9) ポリオ撲滅におけるロータリーとロータリアンの役割の周知を図る

貴クラブは、いろいろなところでポリオ撲滅のための募金をされています。素晴らしいと思っています。国際ロータリーの最優先項目はポリオ撲滅です。国際ロータリーは79年からフィリピンでの投与を始めた。数年後にはポリオ撲滅ができる可能性が強くなってきました。人類が最初は感染症を撲滅したのが、天然痘です。次に、数年後にポリオが、2番目の感染症になる予定です。今、国際ロータリーを始め、各国政府がワクチン投与に費やしているお金は約200億ドルというお金です。これを人類が手にすることができるようになります。国際ロータリーは次にこれを何に使っていくのか。環境問題なのか、まだわかりません。実は国際ロータリークラブはこういうことをやっているんだということが、皆様一人一人が簡単に口から出るようにしていただきたいと思います。これは、一般の人が、国際ロータリーって何をやっているんだらうね、といわれたら、実はポリオ撲滅をやっているんですと堂々と胸をはって言えるようにしてください。これを草の根運動にしてほしいとバリー・ラシンさんは考えておられます。

- (10) ロータリーへの認識を高め、世界を変える行動人キャンペーンを推進する

- (11) ロータリーショーケースとアイデア応援サイトを利用したり、クラブ史を記録することで、ロータリークラブに対する認識を高める、となっています。

次に私の信条を輝こうロータリー再び、基本目的を仲間を増やそう。すべてはそこから始まる。といたしました。

クラブの活動計画書に、私の重点活動方針を記載してありますので、参照いただきたいのですが、特にその中でも、今年度は、がん予防の3年目、最終年度にあたります。是非、がん検診を受けていただきたい。同時に、若い人達へのサポート、を忘れないでお願いします。

さて、各クラブにおいての達成する目標も決めさせて頂きました。会員増強は、会員数50名以上のクラブは純増2名以上、50名以下のクラブは純増1名以上。ロータリー財団への支援としましては、ポリオプラスへの支援がお一人35ドル以上、年次基金をお一人150ドル以上、恒久基金としてベネファクター1名以上、もしくは1000ドル以上、米山奨学金としてお一人1万6000円以上、例年通り、数年間変わっておりませんが、よろしくお願いします。

今年は特別なお願いがあります。実は、米山梅吉記念館が静岡にあります。この維持管理費として、日本のロータリアンの方々に9230万円程度の出宝をお願いできないかと地区のほうに連絡が来ました。諮問委員会、戦略計画委員会と相談しまして、それくらいはしょうがないなあということになりまして、申し訳ありませんが、お一人1000円をお願いします。

もう一つ、ローターアクトクラブ、財政的に困窮しています。特に国際親善の資金が枯渇しています。できれば、皆様500円程度、上限はございませんが、ご寄付をお願いしたいと思っています。公式訪問でこれをお願いするのは本意ではありませんが、よろしくお願いします。

さて、実は、輝こうロータリー再び、と申し上げましたのは、世界に34ゾーンあります。そのゾーンの改善というか改悪というか。そのお陰で、日本人の国際ロータリー理事が二人出ていましたが、2年後から一人に代わります。それに伴い、役員の数も削減されます。それだけでなく、日本の国際ロータリーに対する影響力が非常に弱まっています。その良い例が、昨年9月のRI理事会で、職業奉仕委員会が社会奉仕委員会の中に組み入れられることになりました。私達が昔クラブに入ったとき、シニアリーダーの人から、ロータリークラブというのは、職業奉仕、社会奉仕の2大委員会でまっすぐ進んでいくと言われましたが、その職業奉仕委員会が社会奉仕委員会に組み入れられるということは、二輪車から一輪車になるということです。

ということもあって、地区の新入会員の全員に、クラブ名と氏名、入会年月日が入った新入会員記念バナーを差し上げることにしました。是非、これを契機に新入会員を勧

誘してほしいです。

国際ロータリーでは、このところ、会員減少に歯止めがかかっていません。また、積極的な奉仕活動も沈滞ムードです。ここを変えたらロータリーでなくなるという課題と、これを変えなければロータリーとしても組織としても生き残れないという課題を、クラブの中で真剣に考えていただきたいと思います。

私の私見は、変えてはいけないのは、決議23-34だろうと思っています。超我の奉仕、最も多く奉仕する人は、最も多く報われるという、自他と自己の兼ね合い、これが変わるとロータリーではなくなるのではないかと危惧しています。

変えなければいけないのは、職業分類の新設、変更。やはり女性会員や、若人会員の積極的な勧誘があると思います。今までうまくいっているのに何で変えんといけんのか、という意見もありましょうが、この壁を越えたらその先に何かあるのかということ、真剣に指し示して頂きたい。シニアリーダー、クラブリーダーの方々、この壁の向こう側にあるのは、三次中央ロータリークラブの3年後の姿です。5年後の目標なんです。これを指示してもらいたい。そして、インスピレーションになってもらいたい。是非お願いを致します。

皆様には、RI会長テーマとガバナー信条を十分に理解して頂き、クラブの目標を達成されることを切に願います。ロータリーは本当に今、岐路に立っています。もう、皆様やらなければいけないことはわかっているはず。あとは、やりましょう。そして、インスピレーションになりましょう。ご清聴ありがとうございました。



■点鐘.....角谷会長

★ロータリーの友8月号読みどころ

ロータリー情報委員長 松本章治

横組P.7 会員増強の可能性(特集) 10ヶ条

- 1.クラブの長所を全てリストにする。
- 2.入会候補者のリストを管理する。
- 3.クラブの強みを知る。
- 4.会員増強をクラブの最優先事項にする。
- 5.行く先々でロータリーについて話す。
- 6.会員の責任をリストにする。
- 7.ゴールはないことを認識する。
- 8.入会式をお祝いする。
- 9.粘り強く。
- 10.精力的に。

P.22まで載っていますので必ずお読みください。

縦組P.4 「変化をチャンスに」

アサヒグループホールディングスの会長、泉谷直木氏の地区大会記念講演が掲載されています。世界一幸せな国デンマークの話が書かれています。なぜ幸せと感じているのか。大変興味深い内容となっています。是非お読みください。

■クラブフォーラム

■開会挨拶.....角谷会長

本年度の活動計画の中心となる会議です。皆さんの忌憚のない発表を聞きながら、ガバナーのご意見をいただき、今後の活動に生かして行きたいと思えます。

■ガバナー挨拶.....吉原ガバナー

ガバナーの役目はメッセンジャーだと思います。皆さんが困られていること、疑問に思うこととお話してください。できることはできる、できないことはできないと正直にお答えします。できるだけ柔軟に対応したいと思います。

■ガバナー補佐挨拶.....角田ガバナー補佐

はじめてのフォーラムです。不手際にご容赦ください。

《発表》

■社会奉仕委員会.....中重俊二会員



社会奉仕委員会は、今年度、地区補助金を活用したプロジェクトとして、「社会福祉法人ナイスタイム」が運営する地域活動支援センター「かぜくさ」に通所する障害者の方の社会貢献活動(野草茶製造)を支援するため、乾燥機を寄贈する活動を行います。実施時期は今年8月1日から10月31日の期間を予定しております。

活動の概要ですが、地域活動支援センター「かぜくさ」の施設長より、障害者の方が製造する野草茶の乾燥作業に苦勞していることを知らされ、乾燥機を寄贈することとしました。併せて交流会や、障害者の方の自立支援についての勉強会を実施し、障害者自立について理解を深めていきます。

乾燥作業の効率が上がり、原料の廃棄を極力抑制でき、通所者の作業意欲が高まり、作業にやりがいを持つことで、心身ともに健康で温かく潤いのある生活を送っていただけたらと思います。また、社会の一員としての自覚も芽生え地域社会に貢献できるなど、通所者の方の生き甲斐にも繋がると思えます。

活動として、地域活動支援センター「かぜくさ」にて贈呈式及び交流会を行う。毎年参加する「三次きんさい祭」において、通所者と会員と一緒に、野草茶の販売を行う。その収益金はすべて「かぜくさ」にお渡しする。施設長を例会に招き、障害者自立支援等の現状について勉強会を行う。(2017年12月に実施済み。)

最後に広報委員会と連携して、当クラブの活動を地元ケーブルテレビ(ピオネット)及び中国新聞に取材依頼をし、三次市広報及びロータリーの友誌に投稿する事で、クラブのPR活動とする。

■吉原ガバナー所感.....

財団が集めたお金を各クラブが自由に使いたいという要望があります。これは永遠のテーマです。今年度ク



ラブが出した金額の2倍の金額を地区から出すということをやってみようと思えます。手続上、実際に動くのは次年度になります。

■中重俊二会員

地区補助金の話が進んでいくと途中でやめるわけには行かなくなります。クラブの全額負担になるので、ダメなら早く結論を出していただきたい。

■角田ガバナー補佐

財団のお金は使いやすいようで使いにくいのが現状です。今は財団委員が申請の手続き等、代理でしますので、直接お話ししてください。

■会員増強委員会.....元廣修会員

今年度活動計画として、「仲間を増やそう、全てはそこから始まる」をテーマに全会員の協力を得て、会員増強に努めます。

1. 純増1名以上の会員増強を目指します。

2. 候補者の情報把握に努め、迅速な対応を行う。

3. 会員の仲間づくりを強化し、退会を防ぐ。

と掲げています。

当クラブでは、前年度3名の退会があり、現在41名の会員となっています。

会員増強の具体的な活動として、8月27日の例会に地区会員増強委員長 中島秀晴氏にご講演をいただき、地区方針を再確認し、ご指導をいただきます。

年度を前期・後期に区分し、それぞれ会員全体に呼びかけて、候補者の推薦や情報の提供を受けます。特に若い年齢層や女性、そして当クラブは1業種1人の取り決めがあり、未充填の職業分類の候補者にターゲットを絞って取り組みたいと考えています。また、候補の段階から候補者の職業上や社会的見地からの適格性を調査し、理事会に報告していきます。同時にフレンドテーブルに招き、当クラブへの理解を深めていただくよう取り組みます。

■吉原ガバナー所感.....

皆様をお願いしたいのは、絶対に会員増強委員会だけに任さないでいただきたいということです。クラブ全員が候補者をあげてください。クラブ全員で取り組むこと



が効果的だと思います。

■角田ガバナー補佐

G-12では増強も重要ですが、退会防止に重きを置くことを考えなければと思います。

■クラブ戦略計画委員会.....角谷会長



①戦略計画委員会のメンバー構成について

今年度は、10名で構成する。次年度以降は、会長、幹事、エレクト、副会長、チャーターメンバーから1名の、計5名で構成する。

②小根森委員長の収集した資料をもとに11月ごろまでにアンケートを作成し、実施する。

③目標の設定

アンケート集計後、当クラブの長所、短所を洗い出し、また会員からの提案も含め、次回委員会にて協議する。

④今後の会議の実施計画

年4回(3ヶ月に1回) 次回は11月予定

■角田ガバナー補佐

この委員会は皆さん実体がよくわからないと思います。かいつまんで説明をお願いします。

■吉原ガバナー所感.....

この委員会は具体的には3年後、5年後のクラブをどうしたいのか、地域のニーズをどう掴み何が出来るかを考える事だと思います。私は入会歴の浅い会員の方がニーズをわかっていると思いますので、多くのアンテナを張り巡らし情報収集し、長い目で見たビジョンを語ろうというのがこの委員会だと思います。

■小根森会員

戦略委員会のメンバーに入会歴の若い人を入れることは大事だと思います。新しい風を入れながらクラブの将来を描いていけば良いのではと感じています。



■角田ガバナー補佐

他クラブへのメーキャップをお勧めしています。とても参考になると思います。

■吉原ガバナー.....

メーキャップで自分のクラブで気付かないところがわかり、良い刺激になるので是非メーキャップして下さい。

■社会奉仕委員会.....沈会員



今年度のクラブ会長方針に則り、私たちが国際的な奉仕団体であるロータリークラブの会員であること、それが国際理解と親善そして平和のための活動の一翼を担っているのだとい

うことを自覚し、ロータリーの心が広く社会に意識されるような奉仕活動に努めます。

1. ロータリー財団への理解と、支援をする。

●年次基金:1人当たり150ドル

●恒久基金:ベネファクター1名

2. 米山記念奨学会への理解と、支援をする。

●寄付目標:1人当たり16,000円以上

3. ポリオ・プラスへの理解と、支援をする。

●他の奉仕プロジェクト委員会と協力して、第43回三次きんさい祭に参加し、ポリオ撲滅募金活動を通してロータリーを広報する。

●寄付目標:1人当たり35ドル以上とする。

■吉原ガバナー所感.....

ロータリーの基本は多くの人から少額の寄付を集めるのが理想の姿です。ポリオ撲滅が私たちロータリアンの一つの力になっているという自負と自信を持ってください。

入会歴の一番若い中島清貴さんに入会前後のイメージがどうだったか聞きたいと思います。

■中島清貴会員



入会前は地域の代表者の方が入るクラブでとっつきにくい感がありましたが、入ってみると皆さん接しやすく、地域や会社のことがすべて良かったです。周りの人からロータリーに入ると信用度が違うと言われました。ただ、若い人を入れるのはなかなか難しいと思います。地域には商工会をはじめ色々な青年部組織があり、掛け持ちは大変だと考えます。

■吉原ガバナー所感.....

ロータリーには、何かある。ここにおられる方はロータリークラブに入会したのであって、単なる奉仕団体に入会したのではないのです。利己と利他を勉強するのがロータリーであると思います。利己と利他の兼ね合いが人によって違うことを容認して、その中で前に進む対応性、人を受け入れる寛容性を持っているのがロータリークラブであります。是非みなさんから目標とされるロータリアンになっていただきたいと思います。

■角谷会長.....

年度が始まったばかりで不透明なところもありますが、今日のフォーラムをベースに各委員会で検討し、とにかく楽しい親睦をメインにクラブ運営できるようご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。